

専門社会福祉士認定システムの構築にむけた基礎調査

平成 21 年度独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

「専門社会福祉士認定システムの構築にむけた基礎研究事業」

2009 年 9 月

調査主体：社団法人 日本社会福祉士会
調査実施：株式会社 日本リサーチセンター

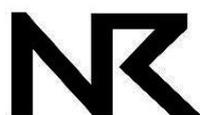
この調査では、専門社会福祉士認定システムの構築にむけて社会福祉士の実情を把握し、専門社会福祉士の認定に必要な条件、また今後目指すべき方向性と課題を明らかにすることを目的としています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◎ ご記入にあたってのお願い ◎

- ◆ この調査のご記入は、封筒のあて名の**社会福祉士ご自身**にお願いいたします。
- ◆ ご記入は、黒の鉛筆・ペン・ボールペンでお願いいたします。
- ◆ 問 1 から順番にお答えください。一部の方にだけお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印（→）で示してありますので、矢印にしたがってお答えください。
- ◆ ご回答は、回答項目が用意されている質問では、あてはまる回答項目の番号（**1**、**2**……）を○で囲んでいただくものと、 に直接数字を記入していただく質問があります。お手数ですがよろしくお願いいたします。
- ◆ また、○の数は「1つ」のもの「あてはまるものすべて」のものがあります。各質問の指定にしたがってお答えください。
- ◆ 「その他」にあてはまる場合には、ご面倒でも○のほかに、その具体的内容を「(かっこ)」内にご記入ください。
- ◆ この調査には**無記名**でご回答ください。ご返送いただいたご回答は、すべて統計的に処理いたします。ご回答者名が特定・公表されることは一切ございません。ありのままをお答えください。
- ◆ 同封の返信用封筒にて、**2009 年 9 月 28 日（月）**までにご投函をお願いします。

この調査の郵送・回収は、㈱日本リサーチセンターに業務委託しております。

【調査実施】



株式会社日本リサーチセンター
ギャラップ・インターナショナル・アソシエーション・メンバー
調査部 担当：萩原、西村(康)

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-7-1

フリーダイヤル 0120-035-061（平日 10:00～12:00、13:00～17:00）

<http://www.nrc.co.jp>



JIS Q 9001, ISO 9001
JSAQ 473

国際標準化機構が認証している品質の国際規格です。弊社は2000年に取得いたしました。



「たいせつにしますプライバシーマーク」は、個人情報について十分な保護策を講じている企業・団体に対して(財)日本情報処理開発協会が与えているマークです。

【全員におうかがいします。】

I. まずは、あなたの基本的プロフィールについてお尋ねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1 男
2 女

問2 あなたの年齢は何歳ですか。(カッコ内に数字を記入)

<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 歳		

問3 あなたが社会福祉士資格を登録したのはいつですか。(カッコ内に数字を記入)

平成	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table>			年

問4 あなたの最終学歴は、次のうち、どれですか。(1つに○)

1 福祉系大学院	6 高等専門学校
2 福祉系以外の大学院	7 専門・専修学校
3 福祉系大学(旧制大学を含む。)	8 高等学校(旧制中学を含む。)
4 福祉系以外の大学	9 その他
5 短大(旧制高校を含む。)	(具体的に)

問5 あなたの相談援助職としての経験は、社会福祉士資格取得前も含め何年ですか。

(カッコ内に数字を記入)。

※「相談援助職」とは、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について(昭和63年2月12日付社庶第29号)」厚生労働省社会局長、厚生労働省児童家庭局長通知の別紙1に定める範囲

<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> 年			<table border="1"><tr><td> </td><td> </td></tr></table> か月			(従事したことがない場合は「0年」)

問6 あなたの社会福祉士資格取得後の相談援助職としての経験は、何年ですか。

(カッコ内に数字を記入)

※「相談援助職」とは、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について(昭和63年2月12日付社庶第29号)」厚生労働省社会局長、厚生労働省児童家庭局長通知の別紙1に定める範囲

	年		か月 (従事したことがない場合は「0年」)
--	---	--	-----------------------

問7 あなたは社会福祉士以外にどのような資格・免許をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

<p>1 弁護士</p> <p>2 司法書士</p> <p>3 行政書士</p> <p>4 社会保険労務士</p> <p>5 医師・歯科医師</p> <p>6 看護師・助産師、保健師</p> <p>7 薬剤師</p> <p>8 理学療法士</p>	<p>9 作業療法士</p> <p>10 言語聴覚士</p> <p>11 臨床心理士</p> <p>12 精神保健福祉士</p> <p>13 介護福祉士</p> <p>14 介護支援専門員</p> <p>15 障害者相談支援専門員</p> <p>16 児童自立支援専門員</p>	<p>17 教科「福祉」の教員免許状</p> <p>18 管理栄養士・栄養士</p> <p>19 保育士</p> <p>20 手話通訳士</p> <p>21 持っていない</p> <p>22 その他 (具体的に)</p>
---	---	---

問8 あなたは日本社会福祉士会以外に、どのような全国組織の専門職団体に所属していますか。

(あてはまるものすべてに○)

<p>1 日本精神保健福祉士協会</p> <p>2 日本介護福祉士会</p> <p>3 日本ソーシャルワーカー協会</p> <p>4 日本医療社会事業協会</p> <p>5 日本介護支援専門員協会</p> <p>6 日本保育協会</p> <p>7 日本看護協会</p> <p>8 所属していない</p> <p>9 その他 (具体的に)</p>
--

問9 あなたは現在働いていますか(非常勤・パート・アルバイトを含む。)(1つに○)

1 はい	→	4ページの間10にお進みください。
2 いいえ	→	5ページの間14にお進みください。
3 以前働いていた	→	4ページの間12にお進みください。

【問9で「1 はい」とお答えいただいた方におうかがいします。】

問10 あなたの現在の就業先は主に次のどれにあてはまりますか。(主なもの1つに○)

1 生活保護分野	6 保健医療分野
2 児童福祉分野	7 地域福祉分野
3 障害児・者福祉分野	8 福祉・介護教育分野
4 高齢者福祉分野	9 司法分野
5 婦人保護分野	10 その他(具体的に)

問11 あなたが現在従事している主となる職種・役職は、次のうち、どれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 相談員	9 老人福祉指導主事	16 教職・研究職
2 判定員	10 MSW (医療ソーシャルワーカー)	17 介護職
3 現業員	11 PSW	18 事務職
4 指導員・生活指導員	12 コミュニティ・ワーカー (社会福祉協議会等)	19 経営者
5 査察指導員	13 介護支援専門員	20 施設長・管理者
6 児童福祉司	14 障害者相談支援専門員	21 サービス管理責任者
7 身体障害者福祉司	15 児童自立支援専門員	22 看護職
8 知的障害者福祉司		23 リハビリ職
		24 その他 (具体的に)

次ページの間14 にお進みください。

【問9で「3 以前働いていた」とお答えいただいた方におうかがいします。】

問12 あなたの就業していたところは主に次のどれにあてはまりますか。(主なもの1つに○)

1 生活保護分野	6 保健医療分野
2 児童福祉分野	7 福祉・介護教育分野
3 障害児・者福祉分野	8 司法分野
4 高齢者福祉分野	9 地域福祉分野
5 婦人保護分野	10 その他(具体的に)

問13 あなたが従事していた主となる職種・役職は、次のうち、どれですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 相談員	9 老人福祉指導主事	16 教職・研究職
2 判定員	10 MSW (医療ソーシャルワーカー)	17 介護職
3 現業員	11 PSW	18 事務職
4 指導員・生活指導員	12 コミュニティ・ワーカー (社会福祉協議会等)	19 経営者
5 査察指導員	13 介護支援専門員	20 施設長・管理者
6 児童福祉司	14 障害者相談支援専門員	21 サービス管理責任者
7 身体障害者福祉司	15 児童自立支援専門員	22 看護職
8 知的障害者福祉司		23 リハビリ職
		24 その他(具体的に)

【全員におうかがいします。】

Ⅱ. 「専門社会福祉士」の専門性を構成する要素について

現在、委員会としては、専門社会福祉士の専門性の構成要素として「実践力（個別支援、連絡調整、地域福祉の増進）」「運営管理」「人材育成（指導力）」「実践の科学化（研究力）」の4つがあると仮定しています。

次の問14～問22にお答えください。

問 14 あなたの「実践力（個別支援、連絡調整、地域福祉の増進）」は、どのレベルですか。（1つに○）

- 1 基本的な実践について、指導を受けながら行うことができる。
- 2 基本的な実践について、指示がなくても一人で行うことができる。
- 3 自身の実践を振り返り改善ができる。
- 4 自身の実践分野のエキスパートとして、後輩に対してのモデルとなることができる。
- 5 複雑で解決困難な福祉課題に対し、多様で高度な知識と卓越した技術を用いて個別支援、連携・調整及び地域福祉の増進の実践及び指導をすべて行うことができる。
- 6 上記1～5のレベルに達していない。

問 15 専門社会福祉士に求められる「実践力（個別支援、連絡調整、地域福祉の増進）」に対するあなたのイメージは、どのようなものですか。ご自由にご記入ください。

問 16 あなたの「運営管理」は、どのレベルですか。（1つに○）

- 1 チームの中で与えられた役割について指導を受けて行動することができる。
- 2 チームの中で自分の役割を見だし、行動することができる。
- 3 チームリーダーとして行動することができる。
- 4 業務の全体像を把握し、チーム活動を通じて業務を運営できる。
- 5 施設・事業所等の運営・経営環境を理解し、社会福祉士の視点を持って運営管理に参画しサービスの質の向上に関する助言及び指導のすべてを行うことができる。
- 6 上記1～5のレベルに達していない

問 17 専門社会福祉士に求められる「運営管理」に対するあなたのイメージは、どのようなものですか。ご自由にご記入ください。

問 18 あなたの「人材育成（指導力）」はどのレベルですか。（1つに○）

- 1 後進育成の意義を理解できる。
- 2 新任職員に対して、助言・指導ができる。
- 3 中堅職員に対し助言・指導を行うことができる。
- 4 指導者として実習指導、研修の企画・実施・評価することができる。
- 5 職能団体等における人材育成において指導的役割を果たすとともに、質の高い相談援助を実践するための環境づくりを行うことができる。
- 6 上記1～5のレベルに達していない

問 19 専門社会福祉士に求められる「人材育成（指導力）」に対するあなたのイメージは、どのようなものですか。ご自由にご記入ください

問 20 あなたの「実践の科学化（研究力）」はどのレベルですか。（1つに○）

- 1 自身の実践について指導を受けながら、課題を明確化することができる。
- 2 自身の実践について自身で課題を明確化できる。
- 3 自身の課題解決に取り組むことができる。
- 4 自身の実践の科学科を図り、研究活動・学会発表などに取り組むことができる。
- 5 専門知識及び技術の向上並びに開発を行い実践の科学化を図るとともに、科学化に関しての助言・指導を行うことができる。
- 6 上記1～5のレベルに達していない

問 21 専門社会福祉士に求められる実践の科学化（研究力）に対するあなたのイメージはどのようなものですか。ご自由にご記入ください。

問 22 専門社会福祉士に必要な専門性の要素として「実践力（個別支援、連絡調整、地域福祉の増進）」「運営管理」「人材育成（指導力）」「実践の科学化（研究力）」を仮定していますが、これについてあなたのご意見をお書きください。

Ⅲ. あなたの研修環境、研修受講の状況、実践研究の状況についておうかがいします。

現在のあなたの状況に照らして、次の問23～問36にお答えください。

問23 あなたは、現在、研修しやすい環境にあると思いますか。（1つに○）

- 1 非常にそう思う
- 2 ある程度そう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない

問24 あなたは、(社)日本社会福祉士会生涯研修制度共通研修課程の修了申請をしていますか。

(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ → 理由： [具体的に]

問25 あなたは、(社)日本社会福祉士会が主催する専門分野別研修の受講、認定申請をしていますか。

受講を修了している場合は「受講修了」に、受講を修了し認定申請している場合は「認定申請」に○をしてください。（あてはまるものすべてに○）

- 1 成年後見人養成研修（受講修了、認定申請）
- 2 障害者の地域生活支援研修（受講修了、認定申請）
- 3 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修（受講修了、認定申請）
- 4 独立型社会福祉士養成研修（受講修了、認定申請）
- 5 虐待対応専門研修（受講修了、認定申請）
- 6 自立に向けての就労支援研修（受講修了、認定申請）
- 7 現場実習指導者養成研修（通信）（受講修了、認定申請）
- 8 受講していない

問26 あなたは、どのような分野の研修を受けていますか。（1つに○）

- 1 生活保護関係
- 2 児童福祉関係
- 3 身体障害者福祉関係
- 4 知的障害者福祉関係
- 5 精神障害者福祉関係
- 6 高齢者福祉関係
- 7 介護保険関係
- 8 婦人保護関係
- 9 保健医療関係
- 10 地域福祉関係
- 11 司法関係
- 12 学校関係
- 13 その他（具体的に)

問27 あなたが受けている研修は、どのような実施主体が行う研修ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 所属の施設・機関（勤務先が直接行うもの）	6 日本ソーシャルワーカー協会
2 日本社会福祉士会	7 全国社会福祉協議会
3 都道府県社会福祉士会	8 その他
4 日本医療社会事業協会	(具体的に)
5 日本精神保健福祉士協会	

問28 あなたの研修を受ける動機をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1 所属施設・機関の実施する研修で受けなければならない
2 所属施設・機関で他機関の研修に派遣される
3 知識、技術を得たい
4 資格取得（更新を含む）のため（例；介護支援専門員）
5 実践についてのアドバイスを得たい
6 研修会場で知り合いを作りたい、ネットワークを広げたい
7 その他（具体的に)

問29 あなたは、スーパービジョンを受けたことがありますか。(1つに○)

<input checked="" type="checkbox"/> 1 ある
<input type="checkbox"/> 2 ない

→ 問31へお進みください。

【問29で「ある」と回答された方におうかがいします。】

問30 スーパービジョンは、誰（どういう関係の方）から受けましたか。ご自由にご記入ください。

--

【全員におうかがいします。】

問31 あなたはスーパービジョンをしたことがありますか。(1つに○)

<input checked="" type="checkbox"/> 1 ある
<input type="checkbox"/> 2 ない

→ 次ページの問33へお進みください。

次ページの問32へお進みください。

【問31で「ある」と回答された方におうかがいします。】

問32 スーパービジョンは、誰（どういう関係の方）に対して行いましたか。ご自由にご記入ください。

【全員におうかがいします。】

問33 あなたは、社会福祉士取得後、実践や研究に関するご自身の発表(文章による発表)を主にどこでされていますか。ご自由にご記入ください。

記載の例) 法人内〇〇研修会 日本社会福祉士会『社会福祉士』、『月間福祉』など

問34 実践や研究に関するご自身の発表(文章による発表)は、何本程度していますか。

	本
--	---

問35 あなたは、社会福祉士取得後、実践や研究に関するご自身の発表(口頭による発表)を主にどこでされていますか。ご自由にご記入ください。

記載の例) 法人内〇〇研修会、〇〇実践報告会、〇〇学会など

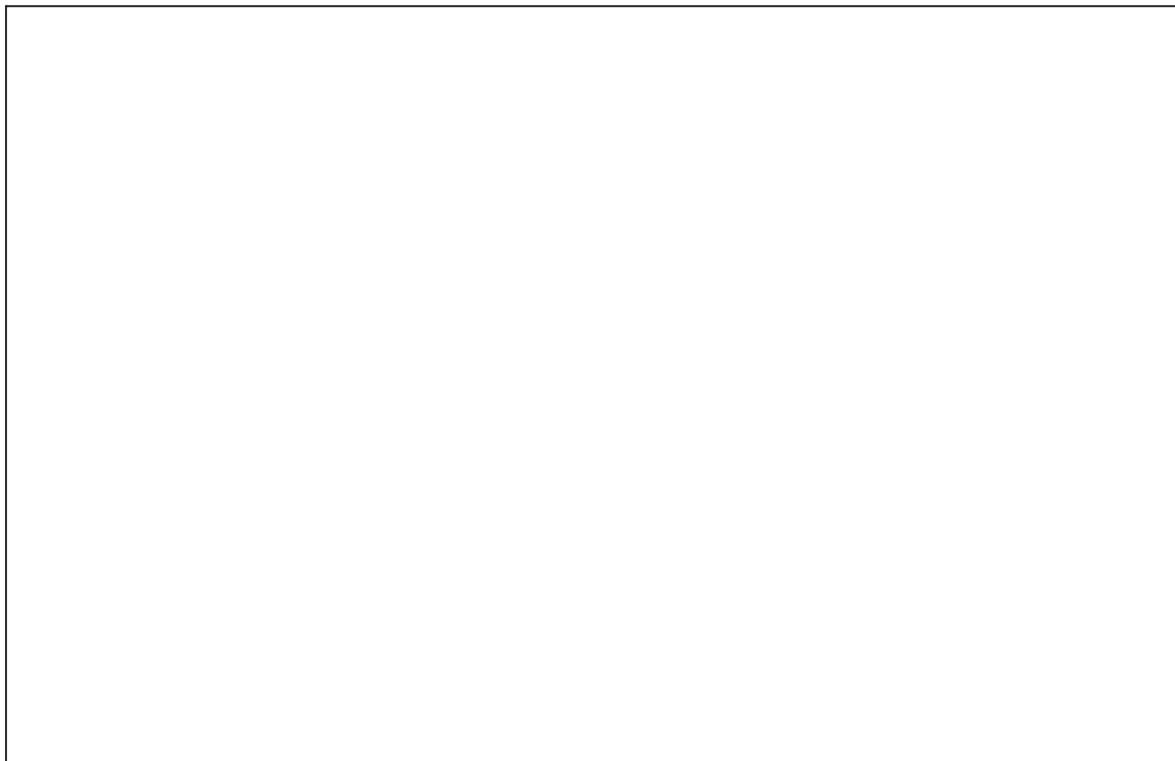
問36 実践や研究に関するご自身の発表(口頭による発表)は、何回程度発表していますか。

	回
--	---

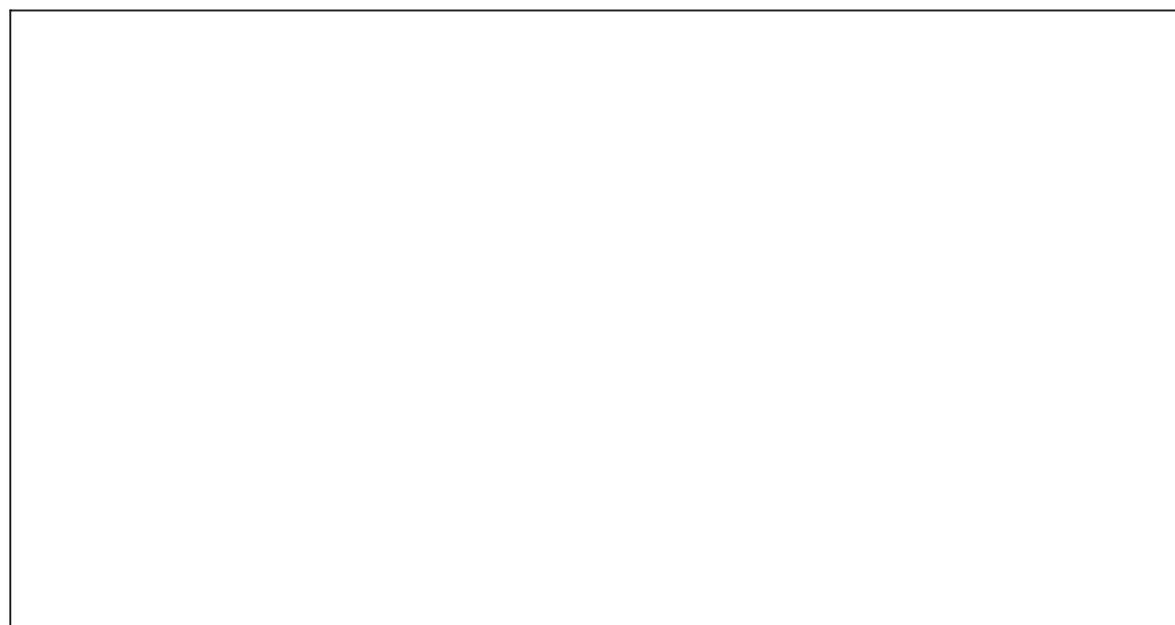
IV. 「専門社会福祉士」に関して

次に、「専門社会福祉士」の検討を行うにあたって、みなさんのご意見やご要望をお聞きます。次の問 37～問 40 にお答えください。

問 37 あなたが考える「専門社会福祉士」のイメージ、あるべき姿とは、どのようなものですか。
ご自由にご記入ください。



問 38 あなたが考える「専門社会福祉士」の専門性の水準とは、どのようなものですか。
ご自由にご記入ください。



問 39 あなたが「専門社会福祉士」制度へ期待することはどのようなことですか。
ご自由にご記入ください。

--

問 40 その他、「専門社会福祉士」についてご自由にご記入ください。

--

以上で質問は終わりです。

お答えいただいた事項について、さらに個別にお伺いしたい場合に、連絡を差し上げてもよい方は、下記にご連絡先のご記入をお願いいたします。

なお、ご記入内容に関しましては、本調査についての連絡以外では使用いたしません。また、この調査の回答は、すべて統計的に処理いたします。ご回答者名が特定・公表されることは一切ございません。

お名前		会員番号	
ご所属組織・機関		ご担当課・職	
ご住所	〒		
電話番号			

ご多忙の中、ご協力いただきましてありがとうございました。

同封の返送用封筒にて、**9月28日(日)**までにご投函をお願いいたします。